

音楽科の基本方針

1 音楽科で目指す子ども

音楽を形づくっている要素を手掛かりに、思いや意図をもって音楽表現したり、楽曲を聴いたりする子ども

音楽科では、音楽的な感受の能力を育てるために、音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズ、反復、問いと答え等）を聴き取り、そのよさを感じ取り、思考・判断・表現する一連の過程を大切にしている。

また、感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを考えたりしていくことが求められている。

当校でも、音楽のよさの基盤となる音楽を形づくっている要素を手掛かりに、自ら試行錯誤しながら、音楽表現や鑑賞の仕方を追求する子どもの姿を目指す。

このように、自分の感じ方を大切に、音楽表現や鑑賞の仕方を追求していく子どもは、音楽に対する感性を豊かにしていく。そして、音楽にかかわることの楽しさや喜びを実感し、生涯にわたって様々な音楽文化と豊かにかかわることができる素地を身に付けていくのである。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 第5学年：音楽づくり

体験や思い出と音楽表現とを関連付けて、自分のイメージに合う音楽をつくる子ども

佐藤は、第5学年の音楽づくりの学習において、体験したことや心に残ったこと等と音楽表現とを関連付けて、自分の

イメージに合う音楽をつくる子どもを目指す。

まず、学校行事等で「体験したことを伝えたい」という思いをもっている子どもに、その伝えたいイメージを表現している音楽のモデルを提示する。子どもは、自分でも伝えたいイメージを表現する音楽をつくってみたいと思う。音楽づくりに興味をもった子どもに、学習の見通しをもたせてから音楽づくりをさせる。子どもは、これまでに習得した知識・技能を活用し、音楽づくりに取り組む。

次に、中間発表を設定し、ある程度つくり進めた音楽を演奏させる。子どもは、「表現したいけれど上手くできないのはなぜか」と思い、新たな課題に気付く。

新たな課題に気付いた子どもに、要素の働きを感じ取りやすい参考曲を提示する。音楽を形づくっている要素に着目して音楽表現を工夫するとよいことに気付かせるためである。

音楽を形づくっている要素に着目して音楽表現を工夫することに気付いた子どもは、伝えたいイメージと音楽の音楽表現とを関連付けて考え、再び音楽づくりに取り組む。子どもは、グループ内でコミュニケーションを図りながら、音楽を形づくっている要素を手掛かりに試行錯誤を繰り返して音楽を仕上げる。

こうして、体験や思い出と音楽表現とを関連付けて、自分のイメージに合う音楽をつくり、作品を完成させる。

最後に、発表会を設定する。子どもは、全体を聴きながら音を合わせて演奏したり、他のグループの作品の特徴や演奏のよさを感じ取りながら聴いたりする。

また、発表後に作品の特徴を振り返らせる。子どもは、振り返りシートに記述しながら、様々な資質・能力を発揮したことで課題を解決できたことを自覚する。

3 音楽科で育成する資質・能力

	低学年	中学年	高学年
① 知識・技能	<p>【表現・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きについての実感を伴う理解（音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズ、反復、問いと答え等） ○身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語の意味や働きについて音楽活動を通じた理解 <p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聴唱する、視唱する、発音に気を付けて歌う、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能 ○聴奏する、視奏する、簡単なリズムや旋律を演奏する、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能 ○音の様々な特徴に気付き、音楽にする技能 	<p>【表現・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きについての実感を伴う理解（低学年の内容に加え、音の重なり、音階や調、変化等） ○音符、休符、記号や音楽にかかわる用語の意味や働きについて音楽活動を通じた理解 <p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聴唱する、視唱する、呼吸及び発音を意識して歌う、各声部、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能 ○聴奏する、視奏する、音色に気を付けて演奏する、各声部、伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能 ○思いや意図などを音楽で表現するための技能 	<p>【表現・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きについての実感を伴う理解（中学年の内容に加え、和声の響き、音楽の縦と横の関係等） ○音符、休符、記号や音楽にかかわる用語の意味や働きについて音楽活動を通じた理解 <p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聴唱する、視唱する、呼吸及び発音、響きを意識して歌う、各声部や全体、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能 ○聴奏する、視奏する、楽器の特徴を生かして演奏する、各声部や全体、伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能 ○思いや意図などを音楽で表現するための技能
② 思考力・判断力・表現力	<p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、どのように表すかについて思いを見いだす力 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏のよさなどを考え味わい、音楽の楽しさを見いだす力 	<p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、どのように表すかについて思いや意図を見いだす力 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏のよさなどを考え味わい、自分にとっての音楽のよさなどを見いだす力 	<p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、知識や技能を得たり活用したりして、どのように表すかについて思いや意図を見いだす力 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、知識を得たり活用したりして、楽曲や演奏のよさなどを考え味わい、自分にとっての音楽のよさなどを見いだす力
③ 態度	<p>【表現・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度 	<p>【表現・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度 	<p>【表現・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度

4 音楽科の学習で働かせる見方・考え方

	低学年	中学年	高学年
見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素とその働きに着目すること ○自己のイメージや感情、生活や文化等と音や音楽とを関連付けて考えること 		